

(様式2)

一般質問通告書

令和8年第3回定例会において、下記の事項について一般質問（代表質問・個人質問）を行いたいので会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和8年8月24日

議員氏名 寺村典久



会派名 無会派

海津市議会議長様

受領番号 第6号 受領日時 令和8年8月24日 8:30

要旨 防災・減災対策について

質問相手 市長

質問内容

質 問 内 容



◎防災・減災対策について

本年7月28日に熊本県熊本地方を震源とするM7.1の大きな地震が発生しました。また、千葉県では、8月13日からの豪雨で甚大な被害が発生しております。

この災害により亡くなられました皆様に、謹んで哀悼の意を捧げます。そして、被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興・復旧を祈念するところであります。

前回第2回定例会での一般質問でも、今回同様の防災・減災対策について質問したところでありますが、こうした災害の直後で且つ防災月間である今、再度、当市の取組について、市民の皆様に対し、お伝えするための大切な機会であると考え、以下の点についてお尋ねします。

1. 上水道について

この二つの災害で共通して被災者が最も生活に支障をきたしていると感じている事象の一つが、断水であります。熊本地震では3週間以上も断水が続いている地域があり、断水解消に向け、熊本県内外から30を超える事業体と200人を超える工事事業者が応援に駆けつけ、復旧作業を続けられております。

断水解消のためには、漏水箇所を探し出し、地中を掘り、水道管を復旧させるなど、様々な工程が必要となります。

ここで、本市の上水道の現状について、以下の３点についてお尋ねします。

- ① 上水道の水源地及び水道管（本管）の耐震化状況はどの程度でしょうか？
水道管の構造も含めてお答えください。
- ② 不測の事態で長期間断水が発生した場合、給水体制はどのようにお考えでしょうか。
- ③ 給水・復旧支援等に係る、災害時応援協定を締結している主な団体・支援内容をご教示ください。

２． 下水道について

下水道の破損は、わかりにくく、破損した状態でも使用可能だと考え使い続けると宅内の管が詰まり、自宅が大変な状態になることが想定されます。

ここで、以下の２点についてお尋ねします。

- ① 下水道浄化センター及び下水道管の耐震化状況並びに接続世帯数をご教示ください。
- ② 不測の事態で下水道浄化センターが機能不全に陥った場合のバックアップ機能をご教示ください。

３． 内水氾濫対策について

先に触れております千葉豪雨災害は、正に内水氾濫災害であります。

本市は、海津地区・平田地区の高須輪中はその７割程度が海拔ゼロメートル地帯であり、その内水は自然流下が困難なことから、地区内を流れる大江川、中江川、福江川、帆引川等を基幹として９か所の排水機が、南濃地区においても南濃南部排水機、津屋川排水機を始めとする排水機で、市民の生命財産を守っているところです。ここで、以下の３点についてお尋ねします。

- ① 千葉豪雨規模の線状降水帯による雨量にも現状の排水機が機能し、内水氾濫は避けることができるのでしょうか。
- ② 当時、東洋一と言われた高須輪中排水機場も完成から５０年を経過しております。今後の設備更新等の維持管理方針についてご教示ください。
- ③ 南濃地区は、養老山地と揖斐川等の河川堤防に挟まれた地形特性から、中小河川の水位上昇が早く、内水氾濫のリスクが高いと感じております。浸水被害を防止・軽減するため、現在、どのような対策を講じられているのか、具体的にお示しください。

本市では、災害に強いまちづくりに向けた取組として、海津市地域強靱化計画・海津市地域防災計画に基づいた取組が展開されていることは重々承知しています。

市長のキャッチフレーズ「生涯繁盛」は先ず市民が「安全・安心」で住み続けられる場所であることであると考えます。こうした前提で質問しておりますので、市民の皆さまが「安全・安心」を実感できるご答弁を切に願うものであります。

よろしくお願いいたします。